

Kanagawa
net まちづくりレポート
発行 2014年4月10日 No.124
神奈川ネット



市議
三宅真里

観光厚生常任委員会



市議
保坂れい子

総務常任委員会

市長、 ごみ有料化条例を撤回

異例の

鎌倉市は、ごみ減量化を目的に家庭系ごみの戸別収集と有料化をセットで導入する計画を打ち出しました。しかし、戸別収集は市民の理解が得られていないとして、有料化だけを先行させる計画に変更。2月議会に条例案を提出しましたが、違法性が指摘され撤回しました。

市議 保坂れい子

有料化実施のために
市民を監視!!

市は、2015年3月の今泉クリーンセンターの焼却停止に向けて、ごみ焼却量を3万t以下に減らすことに躍起になっています。家庭系ごみの戸別収集・有料化で3500t、その前段として、有料化で少なくとも2000tの減量ができる見込みです。しかし、そのためだけに約1億4300万円を計上しており、費用対効果が悪すぎます。(表参照)

有料化の経費を増大させているのは、不適切なごみ出しを防止、改善させるための分別指導等にかかるコストです。パトロール車15台を購入し、監視員30人を雇用して、証拠写真撮影のためのデジカメを携帯させる等の対策に6千万円近い経費を見込んでいます。こうした手法は、市民の信頼を損なうものと考えます。

神奈川ネットの動議で 違法性が明らかに

この有料化導入のための改正条例案に対して、予算委員会でも法的な不備を指摘しました。条例案では、有料の指定ゴミ袋に入れる「燃やすごみ」の対象品目を規則で定めることになっていました。地方自治法では、手数料等に関する事柄は、議会のチェックが及ぶ条例で規定しなくてはならない

表：削除された有料化実施にかかる経費

経費の内訳	金額 (円)
分別指導非常勤嘱託員の雇用 (30人116日間雇用の報酬・通勤手当)	37,027,200
新規購入車両15台分の諸経費	19,288,752
デジカメ、警告用看板、回収用ボックス等	1,574,986
有料化実施前駆け込み増量対応経費	10,000,000
有料化実施の周知・問合せ対応経費	15,843,886
指定収集袋作成、保管・配送、販売経費	56,151,652
その他	2,698,200
合計	142,584,676

とされています。しかも、規則に委ねておきながら、その規則すら作成されていませんでした。

しかし、市長は条例案に問題はないと繰り返して質疑が終了したため、神奈川ネットが顧問弁護士の見解を求める動議を出しました。その結果出てきた弁護士見解では、条例案の違法性が指摘され、市長はやむなく条例案を撤回し、予算案を訂正しました。

将来を見据えた計画を

今回の条例案の不備は、そもそも燃やすごみの品目を示せなかったことに起因します。市は二転三転の末、昨年5月に「ごみ処理基本計画(中間見直し)再構築」を示しました。その中では、製品プラスチックを資源化する方針で、今年度500tの資源

化を見込んでいます。しかし、実際は資源化の見直しは立っておらず、新年度の予算もついていません。条例で燃やすごみとした場合は、ごみ処理基本計画と齟齬が生じます。市は、遅くとも10年後には新焼却炉を建設する方向ですが、そこで燃やすものは、6月に出るとされる減量化審議会の答申を待たないとわかりません。新焼却炉で燃やすごみの品目を早期に確定させることが優先されます。また、市民を監視し、コストがかかり過ぎる有料化の計画ではなく、市民の理解と協力が得られる、将来を見据えたごみ処理計画にすることが必要です。

●事務所移転しました

〒247-0056 鎌倉市大船3-3-15
サンライズ大船104



神奈川ネットの提案実現

その1 一冊になった防災読本、全戸配布

今まで発行されていた各種防災マップが一冊にまとめられ、全戸配布されました。鎌倉市は、首都直下・南海トラフ地震等で新たな対策強化地域に指定されました。ぜひご活用ください。



その2 2015年4月 大船に消防本部移転

神奈川ネットは、かねてより津波の被害を回避するため、消防本部機能の大船移転を提案してきました。今年度、大船消防署の改修工事が行われ、実現の運びとなりました。

その3 高齢者生活支援 サポートセンター事業実施

☎ 48-1130

生活の中のちょっとしたサポートを必要とする高齢者と、支援する人をつなぐしくみです。神奈川ネットが行った高齢者アンケート調査を基に実現しました。昨年7月から3人のコーディネーターが活動していますが、周知が課題です。

その4 大船中学校にガスヒートポンプ式の空調設備導入

神奈川ネットは、電力だけに頼らない空調設備として、ガスヒートポンプ式の導入を提案してきました。この設備が、新築される大船中学校の全教室に設置されることになりました。今後他の学校にも導入を求めています。

訂正予算に賛成

市長は、家庭系ごみの有料化の条例を撤回し、2014年度予算を訂正して再提案しましたが、引き続きごみ問題で市長を牽制していきます。